

母子・父子・寡婦福祉資金貸付金一覧表

(令和3年4月1日)

資金種類	資金利用者	内 容	貸付限度額(円)	償還期限	据置期間	利子	連保の有無
事業開始	母・父・寡婦 母子・父子福祉団体	事業(例えば洋裁・軽飲食など)を開始するために必要な設備、機械などの購入資金	3,030,000円	7年	貸付後 1年	0%	有
			4,560,000円			1.0%	無
事業継続	母・父・寡婦 母子・父子福祉団体	現在営んでいる事業を継続するために必要な設備、商品などを購入する運転資金	1,520,000円	7年	貸付後 6ヶ月	0%	有
			1,520,000円			1.0%	無
修学	児童・子	高校、大学、高等専門学校または専修学校に就学させるための授業料、書籍代、通学費などに必要な資金。 大学等(2)の場合は、課外活動費、自宅外通学にかかる経費、保健衛生費も対象	別表1のとおり	20年 専修学校(一般課程)5年	修学終了後 6ヶ月	0%	×
就学支度	児童・子	小学校、中学校、高校、大学、高等専門学校または専修学校に入学に際して必要な被服などの購入に必要な資金	別表2のとおり	就学(大学、高校等)20年 修業5年	修学終了後 6ヶ月	0%	×
技能習得	母・父・寡婦	事業を開始し、または就職するために必要な知識技能を習得するための授業料、通学費などの資金	月額 68,000円 (特別一括 816,000円) (自動車免許取得 460,000円)	20年	知識技能習得後 1年間	0% 1.0%	有 無
修業	児童・子	事業を開始し、または就職するために必要な知識技能を習得するのに必要な資金 自動車免許は最終学年のみ対象	月額 68,000円 (自動車免許取得 460,000円)	20年	知識技能習得後 1年間	0%	×
就職支度	母・父・寡婦 児童	就職するために直接必要な被服、靴などの身の回り品を整えるための資金	100,000円 (特別 330,000円) (うち自動車購入分: 230,000円)	6年	貸付後 1年間	0% 1.0% 0%	有 無 ×
医療介護	母・父・寡婦 児童(介護除)	短期(期間が1年以内)の医療または介護を受けるために必要な資金	医療 340,000円 (特別 480,000円)	5年	医療期間 満了後 6ヶ月	0%	有
			介護 500,000円			1.0%	無
生活	母・父・寡婦	短期(期間が1年以内)の医療や介護を受けている期間、失業して1年以内の期間の生活を維持するための資金	月額 105,000円 (特別一括 315,000円)	医療 5年	終了後 6ヶ月	0% 1.0%	有 無
			母・父が生計中心者でない場合は 月額 70,000円 (特別一括 210,000円)	失業 5年	貸付後 6ヶ月	0% 1.0%	有 無
		配偶者のいない女子・男子となって7年未満の者が生活を安定させるための資金(生活安定期間) ¹ 技能習得期間中の生活を維持するための資金		技能月額 141,000円 (特別一括 423,000円)	安定 8年	貸付後 6ヶ月	0% 1.0%
			技能 20年	習得後 6ヶ月	0% 1.0%	有 無	
住宅	母・父・寡婦	現に居住し、かつ所有している住宅の補修、または購入するための資金	1,500,000円 (災害 2,000,000円)	6年 災害 7年	貸付後 6ヶ月	0% 1.0%	有 無
転宅	母・父・寡婦	転居のため、住宅の賃貸借契約により必要な敷金、前家賃及び運送代などの転居資金	260,000円	3年	貸付後 6ヶ月	0% 1.0%	有 無
結婚	母・父・寡婦	扶養している子どもの婚姻に際し必要な資金	300,000円	5年	貸付後 6ヶ月	0% 1.0%	有 無

連保の有無の欄について、連帯保証人の有無に関わらない場合は「×」とする。

別表1 (修学資金の貸付限度額) 限度額は1学年の場合を記載。2年以降については別紙参照

学校区分	貸付月額	
	自宅通学	自宅外通学
高校・専修学校(高等課程)	国公立	27,000円
	私立	34,500円
高等専門学校	国公立	45,000円
	私立	52,500円
専修学校(専門課程)	国公立	31,500円
	私立	33,750円
短大	国公立	48,000円
	私立	52,500円
大学	国公立	67,500円
	私立	78,000円
大学院	修士課程	89,000円
	博士課程	126,500円
専修学校(一般課程)	国公立	67,500円
	私立	96,500円
	国公立	93,500円
	私立	131,000円
	国公立	71,000円
	私立	108,500円
	修士課程	132,000円
	博士課程	183,000円
		51,000円

1 生活安定貸付期間中の貸付金額の合計額の上限については2,520,000円

2 大学、短大、専修学校(専門課程) 高等専門学校(4・5年次)

別表2 (就学支度資金の貸付限度額)

学校区分	1回の貸付額	
	自宅通学	自宅外通学
小学校(非課税者)	64,300円	
中学校(非課税者)	81,000円	
修業施設(中学校卒業)	150,000円	160,000円
修業施設(高校卒業)	272,000円	282,000円
専修学校(一般課程)	150,000円	160,000円
高校・専修学校(高等課程)	国公立	150,000円
	私立	160,000円
大学・短大・高等専門学校 専修学校(専門課程)	国公立	410,000円
	私立	420,000円
大学院	国公立	580,000円
	私立	590,000円
	国公立	380,000円
	私立	590,000円